

豊庄だより



第 726 号 2022 年 10 月 4 日

運動会を無事終えることができました。今回ほど終わってこれほど深い安堵感を味わったのは初めてです。7 月から吹き荒れたコロナ禍。その後、感染状況は落ち着いてきているとはいえ、運動会前日の夜まで、否、当日の朝まで感染の連絡が入りはしないか、ドキドキしていました。もしそうなれば中止しなくてはなりません。2 回のリハ

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達



もも組

ーサルを含め、みんなで取り組んできた運動会、みなさんに発表の機会を逸するのは絶対に避けたいと思っていました。本当によかったです。

3 年前より、密を避けるため年齢別の入れ替え方式を導入してきました。クラス順にするため、1 クラスが連続して演技をすることになるため、体力的にも大丈夫かな

と心配していました。遮光ネットを張っているため、直射日光は避けることはできるかもしれませんが、演技の間に水分補給の時間を取り、熱中症対策にも心掛けました。

世の中は、政府の方針に沿ってでしょうが、「ウイズコロナ」が叫ばれるようになりました。しかし、これは同時に「ウイズリスク」でもあることを忘れてはならないと考えます。次の保育園の大きな行事は生活発表会です。そのころ感染状況がどうなっているかわかりませんが、悩ましい課題です。

今回の運動会の園長の話は、入園式の 6 回に比べれば減りましたが、5 回ありました。年齢によって内容はかえなければと心がけているのですが、万国旗のことは必ず伝えなければと思っていました。運動会前日のことです。ある保護者の方から、「私の国の旗がない」と言われました。ピロティに飾られた万国旗に自分の国の旗がなかったのです。万国旗は単なる装飾ではなく、一つひとつの旗は民族のアイデンティティを表すものです。それを落としていたのを恥じました。「ひとり一人を大切に」と口では言っても全くできていなかったことを反省します。

※掲載している 2 枚の写真は、もも組とひまわり組です。全クラスの紹介ができず申し訳ありません。1 年目と 6 年目ということでご勘弁を。運動会の写真は集合写真を含め 700 枚近く撮りました。CDR の貸し出しをしますので、事務室まで声をかけてください。



ひまわり組